

序

本報告書は、「短期大学評価基準」（2004年10月制定、2008年5月改訂 短期大学基準協会）に沿った評価を「1 図書館自己点検・評価の概要」に位置づけ、「2 資料編」と併せ2部構成とした。

第1部 図書館自己点検・評価の概要

- 1 「短期大学評価基準」に基づく自己点検・評価
- 2 総合的な自己評価

第2部 資料編

- I 図書館業務報告
- II 図書館利用者満足度調査分析

自己点検・評価は、一般的にその年度ごとの事業計画および報告についての分析をもとに実施される。当館において、事業計画は、図書館委員会において作成され、その事業計画にもとづいて業務が遂行される。そしてその結果が年度ごとに報告される。このため「2 資料編」は、自己点検・評価を実施する際の基本データとなる。

「第2部 資料編」の「I 図書館業務報告」は、各年度の業務内容、利用実績、図書館利用の資料統計などをまとめたものである。「II 図書館利用者満足度調査分析」は、毎年「図書館利用についてのアンケート」として実施されるアンケートを集計し、分析結果を付記したものである。図書館サービスが利用者にとどのように受け取られているかを、満足度によって知ることができる。

第1部 図書館自己点検・評価の概要

1 「短期大学評価基準」に基づく自己点検・評価

(1) 利用者数および開館日数

学生数は、326名（1学年124名、2学年202名、科目等履修生2名）

教職員数は、69名、合計 397名（2017年5月1日現在）

2016年度の開館日数 251日

(2) 施設・設備

本館の施設・設備に関しては、次のとおりである。

鉄筋コンクリート造 3F建（1987年10月竣工）

床面積 2F 635㎡、3F 635㎡ 1F書庫 200㎡ 合計1,470㎡

図書収容能力 122,000冊

1F 書庫

2F カウンター、AV室（DVD・VTRプレイヤー3台、CDプレイヤー2台）、教員室（現在は教員の個人研究室として管理外）、館長室、事務室、ブラウジング・コーナー、絵本コーナー、OPAC・コーナー（館内用1台、インターネット経由4台）

3F 閲覧室、一般書架、ブラウジング・コーナー、OPAC・コーナー（館内用1台、インターネット経由2台）、紙芝居・大型本書架

閲覧席数 108席

2F 閲覧室（12席）、AV室（共同閲覧可）（8席）

3F 閲覧室（84席）、キャレル（4席）

その他の座席 24席

2F ブラウジング・コーナー（6席）、スツール（9席）

3F 読書席・コーナー（8席）、スツール（5席）

入口にはBDS（Book Detection System）を設置し、図書の無断持ち出しを防止している。2006年7月から計数機によって入館者数をカウントしている。

また、教員閲覧室は「教員室」に変更されて以降、図書館内に個人研究室が置かれている。

(3) 資料

2017年3月現在、蔵書数は126,463冊、現行受入雑誌は112タイトル（うち購入102タイトル、学術雑誌は83タイトル）、現行受入研究紀要232タイトルであり、保存雑誌125タイトル、保存研究紀要339タイトルである。

受入図書の変遷、AV資料数の内訳は下記および図1のとおりである。

図書、雑誌（2016年度）

図 書			雑誌・新聞		
和書	洋書	合計	和	洋	合計
124,164	2,299	126,463	119	0	119

図書は冊数、新聞は、年間受入雑誌のタイトル数

受入冊数の変遷

年度	和書		洋書		合計	蔵書数	
	総数	寄贈	総数	寄贈			
2012	24	2,356	521	0	0	2,356	117,928
2013	25	2,400	615	0	0	2,400	119,978
2014	26	2,491	436	28	28	2,519	122,041
2015	27	2,551	510	1	0	2,552	124,100
2016	28	2,686	541	12	0	2,698	126,463

寄贈図書は、主に本学協力会から、冊数は内数

(単位：冊)

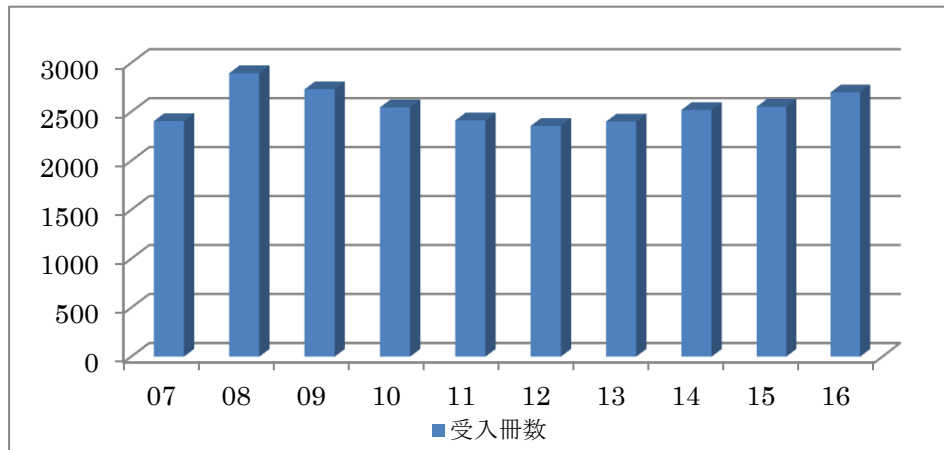


図1 受入冊数の推移

視聴覚資料一覧

ビデオテープ：593巻	／	DVD：556枚	／	カセットテープ：222巻
CD：1,442枚	／	CD-ROM：12枚	／	紙芝居：2,571点
ピアノピース：492点	／	スライド：18点		

資料保管のための見通し

2012年度、3階閲覧室の壁面に書架を増設し保管スペースを確保したため、図書収容能力が以前の11.5万冊から12.2万冊程度に増加した。2016年度末、蔵書数は126,463冊となり100%の状態となった。ただし本館の場合、絵本、ソフトカバーの軽読書用の図書が多数あるため、計算上よりも若干余裕が見込まれる。当面は、不用図書が多数あるため、除籍によってスペースを確保している。

(4) 年間予算

2016年度の決算額は、図書費360万円（AV資料、データベース、製本費を含む）、雑

誌・新聞 100 万円、合計 460 万円であった。2010 年度に予算が減額されて以来、資料の受入数は減少している（図 2）。このほかに、例年どおり本学協力会から年間 60 万円の補助を受けた。

資料費の変遷

(単位：千円)

年度	冊数	図書	図書以外	合計
2012	24	3,099	1,423	4,522
2013	25	2,949	1,651	4,600
2014	26	3,288	1,312	4,600
2015	27	3,209	1,391	4,600
2016	28	3,380	1,220	4,600

図書以外：新聞・雑誌のほか AV 資料、データベースなどが含まれる

(単位：千円)

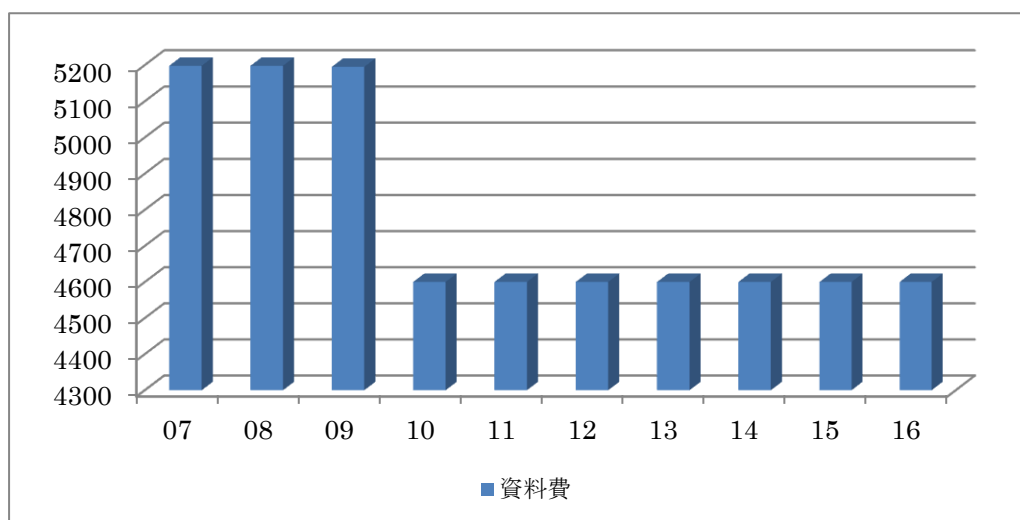


図 2 資料費の推移

(5) 購入図書の選書システムと廃棄について

図書の選書システムは、1997 年度に選書ワーキンググループ（以下、選書WG）による教員と図書館員による組織がつけられた（1998 年度以降中断、2005 年度再発足）。2007 年度以降、組織的に運営するため、選書WGのメンバーを固定化し（教員 4 名に館長、図書館員 1 名）、定期的に会議を開催していたが、2010 年度以降は選書のための資料を回覧するにとどまっている。

選書について

毎年、非常勤講師を含む全教員に対して 4 月と 10 月の学期のはじめに、授業などのために必要な購入希望図書の依頼をしている。希望が出されたものについては最優先して購入し、また「シラバス」に掲載された教科書、参考書類はもれなく揃えるようにしている。

なお、学生の要望を反映させるためにリクエスト制度と、「選書ツアー」を実施している。2016 年度は 4 回、延べ 19 名と多くの学生が参加した。ツアーの際の図書の購入には、

協力会からの補助 60 万円を充当し、2016 年度は図書 469 冊を購入した。

除籍について

2016 年度は 335 冊の除籍を行った。いずれも、内容が古いために利用価値を著しく喪失した資料である。これらは「資料収集・管理規程」第 14 条に則って、図書館が該当する資料リストを作成し図書館委員会に諮る。承認を得た上で、さらに全教員に周知し、資料に関し意見を求め、1 週間の閲覧期間を設けた後、事務的な処理が行われる。

参考図書、教科関連の図書などの収集に関して

2014 年度から 2016 年度まで過去 3 年の平均受入冊数は 2,590 冊である。本学学生の利用は、その多くが教科の学習を目的としているため、学習・教材的な資料を多く購入している。貸出される図書の多くは、主にレポートの出される教科や実習のための利用であり、購入と利用のバランスはとれていると考えられる。かつては、参考図書（レファレンス・ブック）は、学生の利用を予測して、広範な分野に渡って購入し、利用の便をはかっていたが、近年は、過去 3 年間平均で 41 冊、受入冊数の 1.6%程度である。基本資料が打ち切られたままになり、更新されていない資料が少なくない。

図書・レファレンスブック（参考図書）の受入状況 (単位：冊数)

年度		一般図書	参考図書	合計
2012	24	2,299	57 (2.4)	2,356
2013	25	2,350	50 (2.2)	2,400
2014	26	2,478	41 (1.7)	2,519
2015	27	2,512	40 (1.6)	2,552
2016	28	2,655	43 (1.6)	2,698

かっこ内の数字は、受入冊数に占める割合

(6) 職員態勢

2016 年度は専任職員 2 名、派遣職員 1 名（全員が司書有資格者）であり、短大図書館の職員数の平均を上回っている。しかし、他館に比べ貸出などの作業量が多く、開館時間の延長の業務などのためにも必要な人数である。

研修・研究については、館員に適切な機会が与えられ、本館加盟の研修など必要に応じて参加するよう配慮がなされている。

(7) 急速な情報化へのシステム対応

図書館情報システムは、ブレインテック「情報館」を使用している。数年おきに最新のシステムに更新され、図書館業務化は円滑に機能している。情報検索システムについても何ら問題は生じていない。

(8) 利用サービスの促進

1990 年代に入り本館の学生の図書館利用が大幅に増加し、学生 1 人当たりの貸出冊数は、2007 年度までは平均 30 冊以上を記録していたが 2008 年度以降は毎年減少している。

2014 年度からは横ばいで、2016 年度の学生 1 人当たりの冊数は 18.0 冊と昨年度より 0.2 冊増加した（図 3）。利用者の要望を選書に反映させるため、従来からリクエストの制度が設けられている。

貸出冊数の推移（学生・卒業生）

年度	学生数	貸出冊数	1 人当たり	卒業生
2012	24	7,917	21.2	963
2013	25	6,950	18.3	1,052
2014	26	6,010	16.5	1,148
2015	27	6,507	17.8	993
2016	28	7,113	18.0	1,084

学生数以外の単位は冊数

(単位：冊)

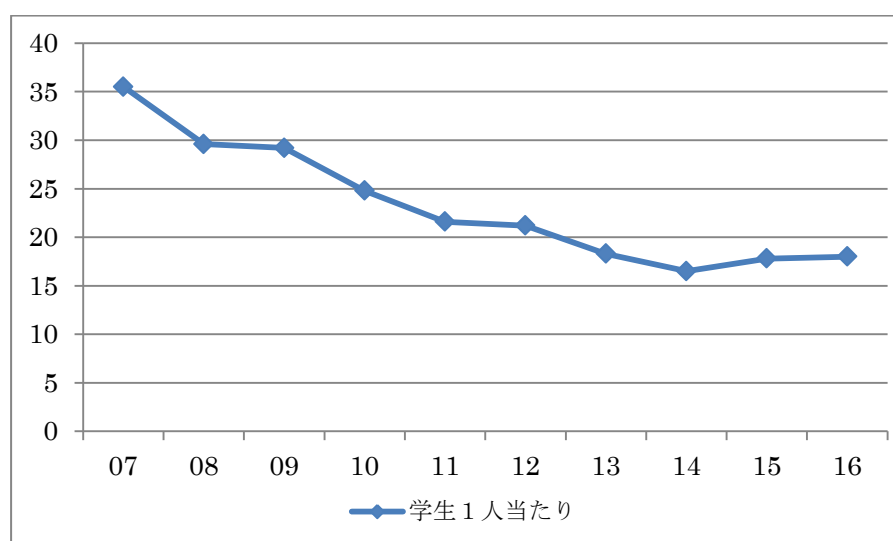


図 3 学生 1 人当たり貸出冊数の推移

学生に対しては、新学期（4 月）に学年全体のオリエンテーションを実施している（全体で 1 学年 30 分、2 学年 10 分程度）。これとは別に 1 年生には、グループ別に館内オリエンテーションを実施し、詳しい利用方法を説明する機会を設けている。その際、案内は毎年 2 年生にお願いしている。同時期にコンピュータ検索（OPAC）のガイダンスも開いているが、参加者はいない。日常的にカウンターで利用の案内をしている。

学生の利用に最も強い影響力をもっているのは、教員からの働きかけである。なかでも授業と図書館との連携こそが最善の利用教育であろう。毎年 4 月と 10 月に「授業内図書館ガイダンス申込書」を全教員に配布し、協力を求めている。

教科に必要な資料について、2016 年度もこれまで同様、年 2 回、全教員にあて「学生に対する図書などのお願い」を配布して協力を呼びかけた。繰り返し協力を要請していることもあって、事前にレポートのテーマを図書館に知らせてくれる教員も現れるようになった。学生の図書館利用の促進のために、引きつづき教員との連携を模索する必要がある。

開館時間は平日 9:00～18:20、また、カリキュラムの関係で授業が行われる土曜は開館（10:00～15:00）を実施している。保育現場に勤務する卒業生の利用は次の表のとおり、

年度により増減はあるが、過去3年を平均すると148名の利用、1075冊の貸出がある。

利用の満足度について、2016年度も12月と2月（2017年）に全学生を対象に「図書館利用に関するアンケート」を実施し、学生の意見を図書館運営に反映させている。また新入生に対して2013年度より「読書アンケート」（4月実施）を毎年行っている。

（9）学内外への情報発信、相互利用など

「図書館報」は年10回、定期発行することになっているが、2016年度は9号であった。このほかに各種図書館利用のための案内などを発行している。

2014年4月、ホームページのデザイン、機能をリニューアルした（2006年度開設、本格実施2008年度）。近年利用が増えている学生以外の利用者にむけて、利用案内をわかりやすくし、学習・研究のためのリンク集などを設け、発行物の閲覧もできるようにしている。今後はHPから予約や延長の手続き、貸出状況の確認など機能を充実させていきたい。

卒業生の利用

卒業生に対する利用は、これまでと同様に実施されている。平日の閉館時間を18:20までとし、前期は授業のある土曜も開館（10:00～15:00）していることもあり、利用しやすくなっている（図4）。現場に出て資料の必要性を感じ、公共図書館には保育の資料はほとんどないことを実感するようだ。

卒業生貸出冊数・人

	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
冊数	596	649	695	1,284	1,141	963	1,052	1,148	993	1,084
人数	138	133	115	223	177	165	113	150	129	167

（単位：冊 人数）

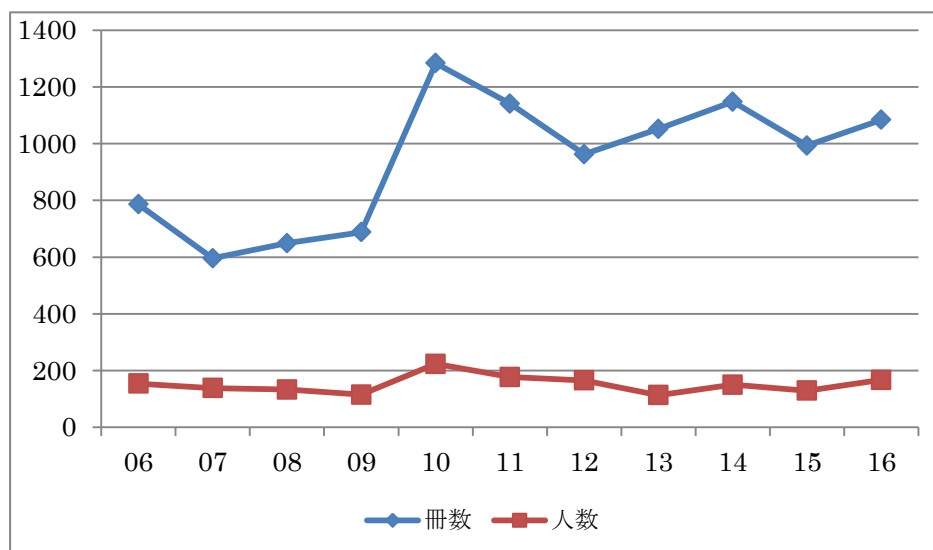


図4 卒業生貸出冊数・人数の推移

保育センター利用者など

2006年度から夏季休業期間中、女子高校生に図書館を開放、また2008年度から、保育センター受講者並びに本学実習園の職員に対して貸出が実施されている（2007年度までは閲覧のみ）。2009年度から保育センターの特別研修「保育研究」（2011、2012年度は実施されず）でガイダンスを実施している。

附属幼稚園関係者

従来から本学附属幼稚園関係者には貸出が認められている。1998、99年度に利用のピークを記録したあと、激減。その後は、ほとんど利用がない時期がつづいた。2010年度から利用者が大幅に増加し、2015年度は貸出冊数、利用者数が前年の倍となった。2016年度はさらに増え過去最高を記録した（図5）。横浜市には公共図書館が1区1館しか設置されていない。そのため、洋光台地区の住民は行政からの十分なサービスを受けられないからである。幼稚園の保護者は、本学が地域に貢献するための大きなヒントを示唆してくれている。

附属幼稚園関係者貸出冊数・人数

年度	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
冊数	249	276	752	1,820	2,391	2,892	3,165	2,091	4,005	6,000
人数	51	34	112	268	304	354	409	255	538	687

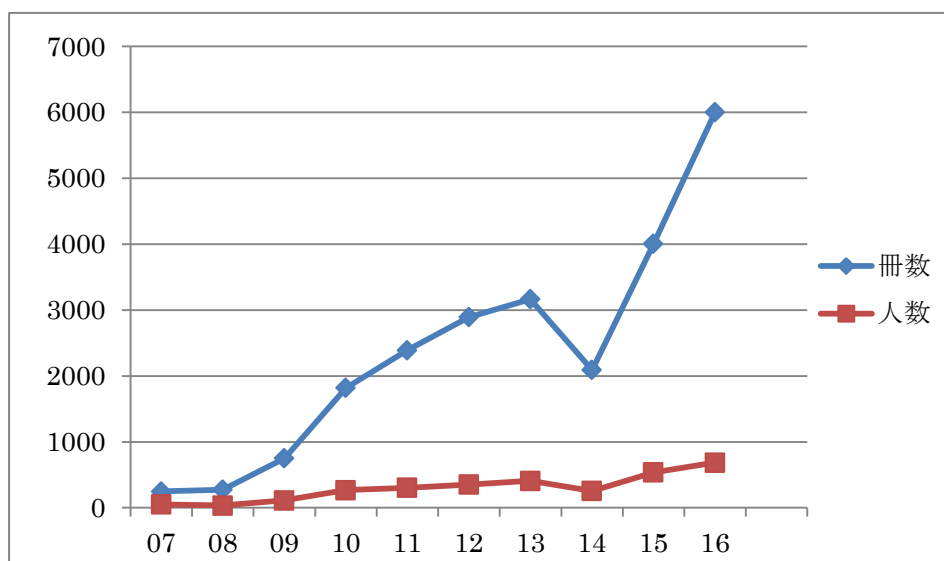


図5 附属幼稚園関係者貸出冊数・人数

相互利用

相互利用については、日本図書館協会、神奈川県図書館協会、私立短期大学図書館協議会に加盟し、他館からの協力が得られるよう態勢が整えられている。利用数の変遷は図6のとおりである。2007年10月からNII（国立情報学センター）のNACSIS-ILL（相互利用システム）に加入・運用している。

(単位：件)

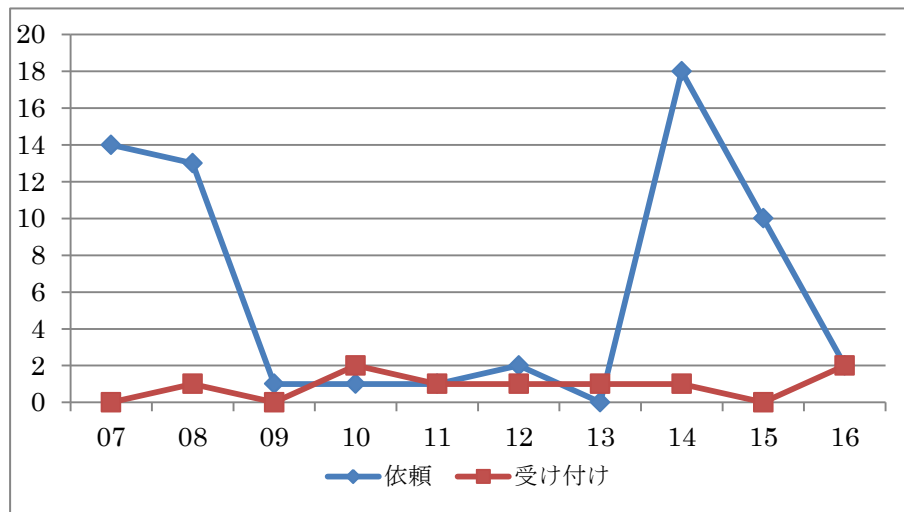


図6 文献複写件数の推移

2 総合的な自己評価

(1) 現状について

本館の施設・設備、資料（蔵書数）はともに高い水準を維持している。また、利用に関しても、2014年度における短期大学図書館全体（学生・教職員ほか）の年間貸出冊数、1館平均は5,446冊で、本館は11,152冊と平均の倍以上、上回っている（全国比較のために、2014年度の数値を用いる、以下同様）。年々、貸出冊数は減少しているが、本館は小規模館でありながら、依然利用に関しては高い水準を維持しているといえよう。

ホームページをリニューアルし（2014年度）、情報環境も整備され、教科担当者との連携による図書館利用（質的向上）についても、徐々に改善されつつある。

(2) 向上・充実のための課題

2014年度の本学資料費は460万円。全国平均は455万円であり平均並である。近年優れた実績をもつ短期大学が4年制に移行したり、不況により大幅な資料費削減が実施されており、短期大学図書館はきわめて厳しい状況下に置かれているといえる。本館の蔵書が12万余冊に達していることを考えると、蔵書を維持してゆくためには、新規購入と共に資料の更新をするなど最低限の資料費は必要である。学生の図書館利用の促進とともに本学図書館の将来構想を視野に入れた図書館委員会、教授会などでの十分な論議が大きな課題である。

資料の購入にあたっては、教科を担当する教員による選書が不可欠であり、選書ワーキンググループがその役割を果たすべきであるが、現在休止状態である。

2013年度から絵本・ブックトークを年2回開催している（2016年度は7月と11月に実施）。実習で喜ばれた絵本や友人にすすめたい絵本を紹介しあう。参加者は延べ12名で当日は見学者も多く好評であった。

学生の読書の実態を調査するために、2011年度から1年生に「読書アンケート」を実

施している（4月オリエンテーション）。項目は「現在、1か月に何冊ぐらい本を読んでいますか（マンガや絵本・雑誌などは除く）」というものである（2016年度は4月4日実施、202名から回答を得られた）。図7は2012～2016年度生の1か月の読書冊数である。これによると最近1か月まったく本を読んでいない（0冊）学生は、2012年度は50.1%と約半数だったが、2015年度は73.2%まで増加した。2016年度は69.9%とやや減少。一人月平均読書冊数は表のとおり2016年度は0.6冊、4年前の半分以下である。日常的に読書をするという習慣が身につけていないことがわかる。

2011年11月から始めた「読書会」は、2016年度は定期的に前期6回開催、参加者は延べ11名（学生）であった（2015年度は7回、参加者0）。取り上げた本について感じたことを話し合ったり、最近読んで面白かった本の紹介など情報交流を行っている。後期は「新潮文庫の100冊を読もう」（2015年度から実施）で、100冊から自由に選んで読み、コメントを紹介しあう。「保育相談支援」（2学年・担当教員・亀谷美代子図書館長）の授業で参加を呼びかけている。2016年度は10回開催、参加者は168名（2015年度は9回、参加者15名）、2学年のほぼ全員が参加した

図書館利用のノウハウを2年生から1年生に伝えるために「図書館報」を活用している。レポート提出時や実習の際の図書館利用法やアドバイスを掲載したり、図書委員の活動として実習に役立つおすすめの絵本などを紹介している。

さらに読書の幅を広げてもらおうと、展示「館員おすすめの本」では、館員が隔月で交替し、様々なテーマで読んでほしい本のブックリストとともに展示をしている。

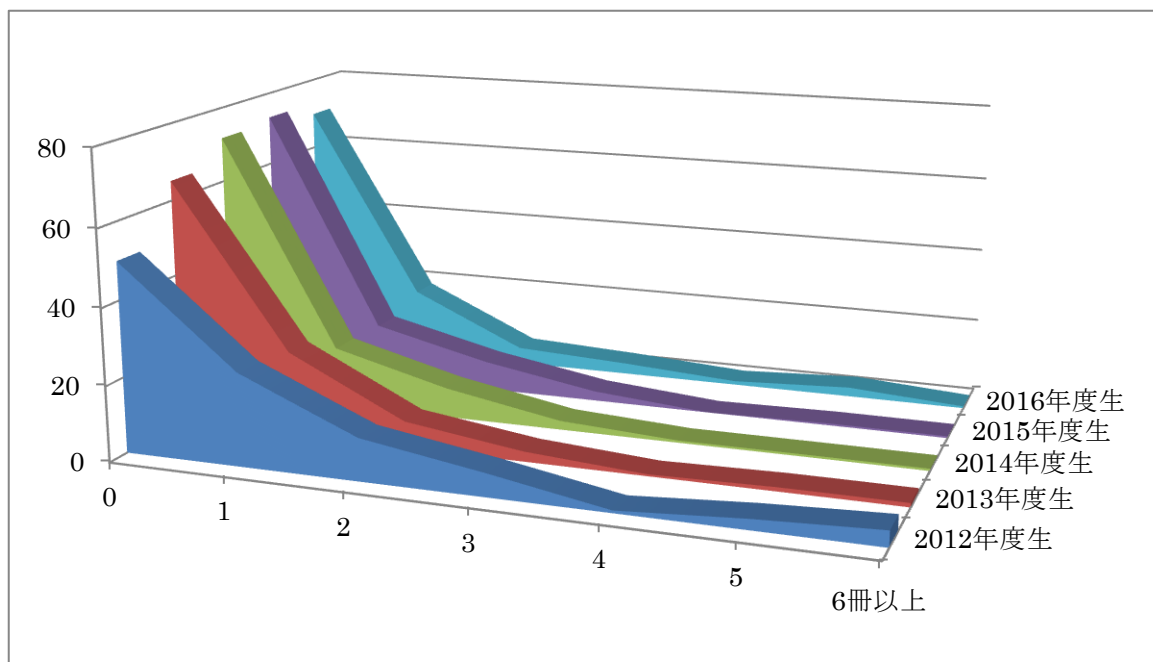


図7 1か月の読書冊数 2012-2016年度生（学生）

1か月の平均読書冊数

年度生	2012	2013	2014	2015	2016
平均冊数	1.4冊	0.6冊	0.5冊	0.5冊	0.6冊

2016 年度読書会プログラム

回数	日時	取り上げた本
第1回	4.20	三浦しをん『舟を編む』光文社 2011
第2回	5.11	サン＝テグジュペリ『星の王子さま』集英社文庫 2005 参加者2名
第3回	5.25	清少納言『新訳 枕草子』角川古典文庫 1997 参加者2名
第4回	6.10	太宰治『斜陽』岩波文庫 1998
第5回	6.23	宮沢賢治『銀河鉄道の夜』新潮文庫 1989 参加者7名
第6回	7.13	ミヒヤエル・エンデ『モモ』岩波書店 1976
①	10.26	「新潮文庫の100冊」を読もう 参加者168名
②	11.2	
③	11.4	
④	11.9	
⑤	11.16	
⑥	11.30	
⑦	12.7	
⑧	12.14	
⑨	12.21	
⑩	2017.1.12	

(3) 早急に改善を要すると判断される事項

施設面では、蔵書の増加に対する書庫の拡充もしくは書庫スペースの確保が課題としてあるほか、教員閲覧室が「教員室」に変更されて以降、教員には研究・調査などのための施設が十分に確保されていないことである。これらについては図書館委員会ではある程度の共通理解が得られているが、全学的な合意形成が得られるまでには至っていない。図書館が学生・教職員の教育・研究のための機能を果たすためには、大学全体にどのように位置づけられるべきかなど基本的な構想が必要な時期に来ている。なお、教員の研究、学生の学習活動などの環境改善のために、図書館委員会から総教授会に対して、学内に将来計画委員会（案）を設置して、長期のマスタープランを全学で検討するよう提案することも計画されていたが、実現していない。

「短期大学評価基準」（2004年10月制定、2008年5月改訂 短期大学基準協会）

評価領域Ⅲ 教育の実施体制

評価項目3 図書館もしくは学習資源センター等が整備されていること

- (1) 図書館（以下、学習資源センター等を含む）の蔵書数、学術雑誌数、AV資料数及び座席数等は、在籍学生数に比し適当か。
- (2) 図書館の広さは充分であり、その環境は適切に整備されているか。また蔵書数の増加等、将来に備えたものとなっているか。
- (3) 年間の図書（以下、学術雑誌、AV資料等を含む）購入予算は充分か。また購入図書選定システムや廃棄システムは確立しているか。
- (4) 図書館には学生が利用できる参考図書、関連図書は十分に備えられているか。
- (5) 司書数、司書の能力、図書検索システムなどを含む、図書館のサービス体制は充分か。
- (6) 学生の図書館利用を活発にするための努力は行っているか。
- (7) 学内外への情報発信、他の図書館との相互利用活動など、図書館活動は活発か。

付記

月別の貸出冊数

月別の貸出冊数について、年度ごとに示したのが図8、これを2016年度について、学年別に見たのが図9である。

年度ごとの変化を見ると2016年度は全体的にやや増加しているのがわかる。学年別では、2年生（赤）が前期2度の実習（6月、9月）の前に利用が集中し、後期は冬の行事の取り組みの影響などにより、利用が減少していることがわかる。1年生は学年当初の立ち上がりは遅いが実習前の8月、2月に利用が増加している。

(単位：冊)

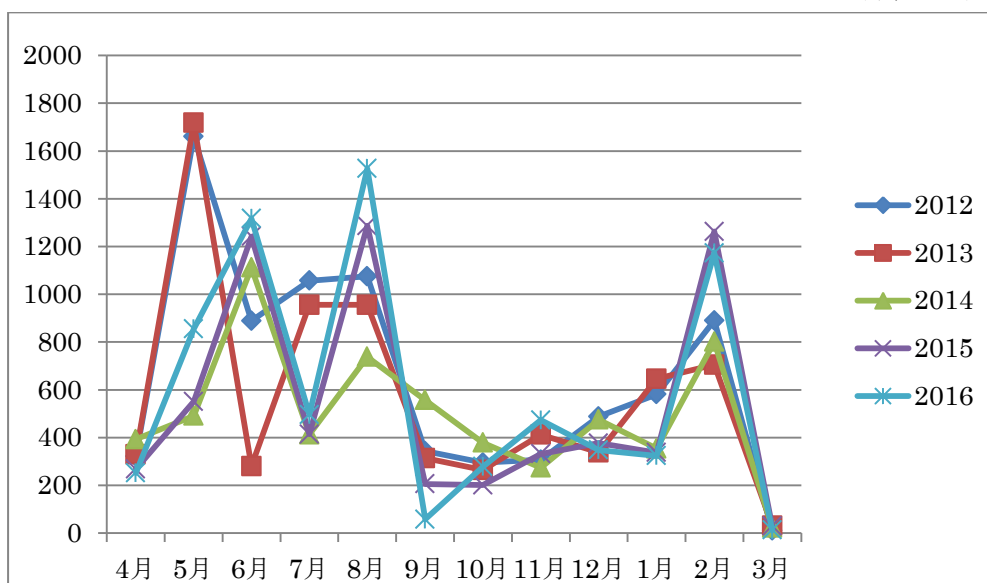
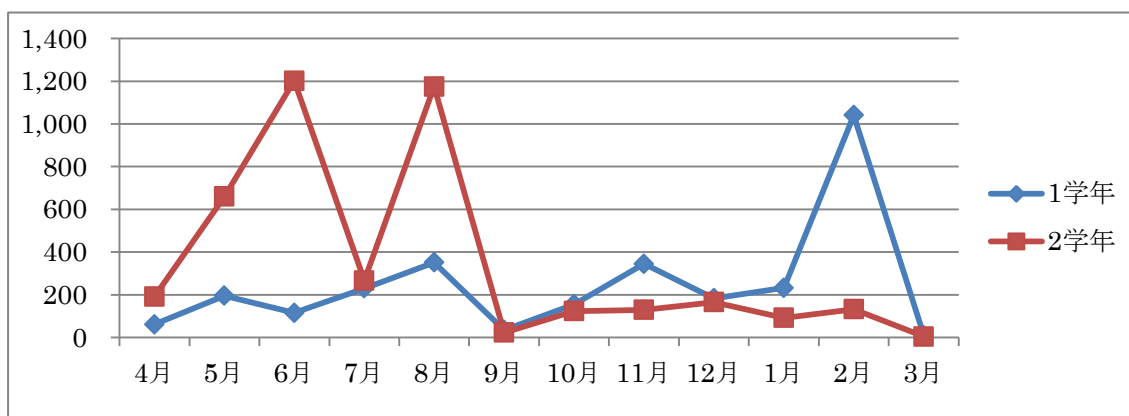


図8 月別貸出冊数の推移 2012-16年度 (学生)



(単位：冊)

2016年度月別貸出冊数 (学年別)

蔵書冊数・受入冊数と貸出冊数との関係

2016年度における蔵書冊数・受入冊数と貸出冊数との関係を全体の割合で示したのが、

次の表と図 10 である。当館の主要教科に関する図書が分類されている「3 社会科学」（保育・幼児教育など）「7 芸術」（絵本、楽譜など）の貸出全体に占めるその割合は、それぞれ 18.5%、58.3%。これを合わせると 76.8%になる。全蔵書数に占める冊数の比率が 44.6%、受入冊数は 55.8%であり、これらを大きく上回っていることがわかる。

蔵書冊数・受入冊数・貸出冊数の比較

(単位：%)

	0総記	1哲学	2歴史	3社会	4自然	5技術	6産業	7芸術	8言語	9文学	合計
蔵書数	11.5	5.5	4.3	31.8	6.3	2.7	0.6	12.8	2.0	22.5	100.0
受入数	14.7	3.2	2.1	28.6	6.0	2.3	0.7	27.2	1.0	14.2	100.0
貸出数	0.5	1.7	0.9	18.5	3.4	2.7	1.0	58.3	0.6	12.4	100.0

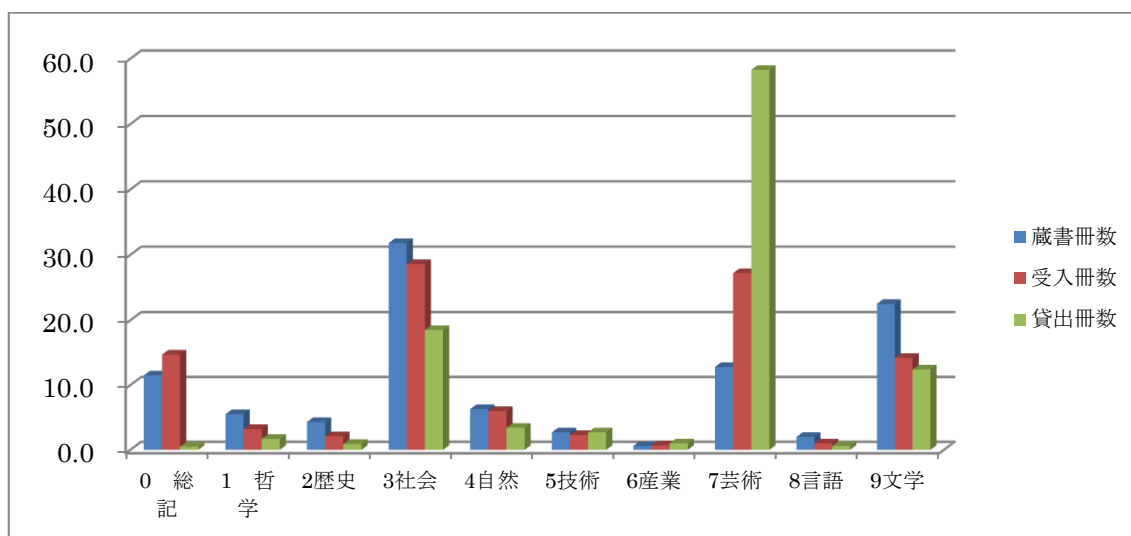


図 10 蔵書冊数・受入冊数・貸出冊数の比較

蔵書冊数に占める社会科学・芸術の貸出冊数の占める割合

(単位：%)

年度	蔵書冊数	貸出冊数	貸出／蔵書
2012	43.6	77.6	178
2013	43.8	80.5	184
2014	44.1	81.0	184
2015	44.3	78.6	177
2016	44.6	76.8	172

貸出される図書の多くは、主に実習のための利用であり、次にレポートの出される教科である。上記のことは、授業内容が貸出しに大きく影響していることを物語っている。学生の利用傾向の変化については、詳細な分析が必要であり、このこと自体をどのように考えたらよいかさらに検討を要するが、図書館の運営や収集方針にその原因があるとの見方も検討されなければならないだろう。実際に専門書・一般図書の受入冊数が減少、一方で低廉な図書、実用書の受入冊数が増加していることは否定できない。それが学生の利用に直接に反映しているとの推察は一概にできないとしても、何らかの関係があるとの可能性も捨てきれないであろう。

年間貸出冊数は短大平均を大幅に上回ってはいるが、量的にはほぼ利用の上限に達して

いよう。そろそろ図書館が授業との連携の上に立った運営方針を明確にして、質的な転換を目指す時期に来ていると思われる。それには本学の今後の教育のあり方を検討するなかで、保育者養成の将来像を見据え、保育者の専門性向上のための図書館のサポートシステムが共有の課題として論議される必要があるのではないだろうか。

第2部 資料編

I 図書館業務報告

1 図書館利用

(1) 利用案内

開館時間

平日 9:00～18:20

*前期－授業のある土曜日・祝日 10:00～15:00

休館日 日曜日、祝日、本学行事の日、開館日以外の土曜日、休暇中の一定期間

貸出 学生：10冊－2週間 教職員：50冊－2週間、研究用図書－1年

卒業生、10冊－1か月 館長が許可した者、3冊－2週間

(2) 利用者サービス

①オリエンテーション 1年、2年（4月）

②OPAC利用説明（4月実施）

③広報 『図書館ガイド2016』、『図書館ガイド』（カラー版、学外PR用）、『情報へのアクセス』（2016年11月発行）、『図書館報』第196～204号、『保育者になるための読書ガイド&これから社会に出て、仕事に就く人のための学びの道への開かれた扉2017』

④他機関の利用 文献複写、他研究機関の紹介。研究者には「神奈川県大学図書館共通閲覧証」を発行。

2 図書館の歩み

1951年4月 横浜保育専門学院新校舎建設、図書室が整備される

1962年9月 校舎を横浜市南区に新築移転、図書室を完備

1966年1月 学校法人白峰学園設立。横浜女子短期大学が設置認可され、横浜市南区中村町の学内に図書館が置かれる。

1971年4月 校舎、図書館を整備し、教育の充実をはかる

1979年2月 横浜市港南区港南台に校舎・図書館を新築、移転する

1987年4月 「図書館報」第1号発行

10月 新図書館落成

1988年6月 コンピュータ機器導入、CD-ROMによる図書データ作成開始

1990年9月 コンピュータ・システム（ブレインテック「情報館」）導入、閲覧・整理業務開始

1991年－ 卒業生へ貸出開始

1993年4月 学生の貸出冊数を5冊から10冊へ（実習、長期休業期間は15冊へ）

- 1994年5月 「図書館業務報告書」（2004年度まで毎年）発行
- 11月 「横浜女子短期大学図書館規程」、「同、委員会規程」制定
図書館委員会（教員5名、館員1名）発足
- 1995年5月 「横浜女子短期大学図書館利用規程」、「同、資料収集・管理規程」制定
- 1996年4月 附属幼稚園保護者へ貸出、保育センター受講生への閲覧を開始
「図書館運営の指標」制定
- 1997年2月 「図書館利用に関するアンケート」実施（以降、毎年）
- 3月 学術情報センター（NACSIS、現国立情報学研究所（NII））と接続
- 2002年7月 「図書館報」100号発行
- 2005年5月 「自己点検・評価報告書」（以降毎年）発行
- 10月 学生へCD貸出開始
- 2006年6月 ホームページ開設
- 8月 夏休み期間、女子高生へ開放（以降、毎年実施）
- 2008年4月 保育センター受講生、本学実習園の保育士へ貸出を開始
- 2014年4月 ホームページリニューアル
- 2016年10月 「図書館報」200号発行

コンピュータ導入

- 1988年6月 コンピュータ機器導入（第1期）、CD-ROMによる図書データ作成開始
- 1990年9月 図書館コンピュータ・システム（ブレインテック「情報館」）導入（第2期）閲覧・整理業務開始。10-NETによる。端末機4台（事務室2、閲覧1、利用者端末1）
- 1994年4月 図書館コンピュータ・システム更新（第3期）、LANによるコンピュータ・ネットワーク・システム。サーバー機1、端末機3台を導入（トータルで、事務室3、閲覧1、利用者端末3）
- 1995年11月 図書館コンピュータ・システム更新（第4期）、Windows版対応ソフト。新型の端末機5台を導入（トータルで、事務室4、閲覧1、利用者端末3）
- 1997年3月 学術情報センター（NACSIS、現国立情報学研究所（NII））と接続
- 1999年9月 図書館コンピュータ・システム更新（第5期）、Windows 98版対応ソフト。新型の端末機1台を導入（トータルで、事務室3、閲覧2、利用者端末4）
- 2004年3月 図書館コンピュータ・システム更新（第6期）、新型のサーバー機、事務室3台、閲覧2台を導入。クライアント5台は、Windows XP対応（トータルで、事務室3、閲覧2、利用者端末4）
- 2005年12月 図書館コンピュータ・システム更新（第7期）、OPAC4台（入替）、インターネット検索用4台増設など
- 2008年3月 図書館コンピュータ・システム更新（第8期）、新型のサーバー機、事務室3台、閲覧2台を更新。
- 2010年3月 図書館コンピュータ・システム更新（第9期）、Windows 7対応、OPAC4台（入替）、インターネット検索用4台、ノートパソコンを更新
- 2013年3月 図書館コンピュータ・システム更新（第10期）、新型サーバー機、事務

室 3 台、閲覧 2 台を更新

2015 年 3 月 図書館コンピュータ・システム更新（第 11 期）、Windows 8.1 対応、インターネット検索用 8 台、ノートパソコンを更新

2015 年 6 月 インターネット検索用 8 台のうち、2 台を館内 OPAC へ変更

3 組織・運営

(1) 職員構成

図書館長代行 亀谷美代子

図書館課長補佐（司書）原真由美、主任（司書）高橋和子、派遣職員（司書）大久保美玲

(2) 図書館委員会

委員長 亀谷美代子（館長代行）、委員 佐藤寛之、篠原万喜子、スティーヴン・トムソン、本多幸、細野美幸、原真由美（図書館員）

(3) 図書館委員会の開催（承認・報告）

2016 年度、委員会は開催せず、稟議書、お知らせを回して承認を得た。

2016 年 7 月 18 日 承認・報告

承認「図書館自己点検・評価報告書 2015 年度版」（案）

報告 3 月 31 日付総務部長「示達書」、4 月 8 日付「図書館報告」（3 月 31 日現在）、
「2016 年度定期雑誌一覧」など

2016 年 10 月 3 日 承認・報告

承認 図書の購入について

報告 10 月 3 日付「蔵書点検報告」「蔵書点検報告」確認表付き

2017 年 1 月 13 日 承認・報告

承認 図書の購入について

報告 「月別資料費一覧」

2017 年 3 月 15 日 承認・報告

承認（議案に相当）図書の廃棄について

報告 3 月 27 日付「お知らせ」（教員あてに図書紹介を依頼）、図書館利用状況（貸出冊数一覧、学生貸出冊数）、「月別資料費一覧」

(4) 図書委員（学生）

人数

1 学年 8 名、2 学年 8 名

活動内容

1・2 学年 5 月 10 日（委員会の仕事について）、10 月 31 日（選書ツアー、読書会、ブックトークへの参加など）

（５）加盟団体

日本図書館協会、神奈川県図書館協会、私立短期大学図書館協議会に加盟。

（６）図書館事務分掌

図書館事務分掌については、次のとおりである。

管理

	区分	業務名	業務内容
1	1 企画	図書館委員会	図書館委員会の運営に当たり、議案の立案、報告内容の検討など 会運営に必要な事項を整理し準備する。事務作業には、開催案内、 委員の招集、会議場所の設定、会議の開催、会議資料の作成、議事 録の作成などがある。委員会は、定例が年6回開催。図書館からは館 長、館長が推薦する者1名が委員会委員となる。
2	1 企画	図書委員会（ 学生）	図書委員会の運営に当たり、議題の企画・立案を整理し準備する 。事務作業には、開催案内、委員の招集、会議の開催、会議資料の 作成、会議の内容を館長に報告する。
3	1 企画	図書館業務企 画立案	図書館業務の企画・立案の重要な柱となるのは「図書館年間計画 」である。これらが図書館委員会で論議され、館運営の指針となる 。年間計画は、短・中・長期的計画から成り、それらが適切に図書 館運営に反映されるよう配慮されなければならない。
4	1 企画	予算立案	本館の予算は、図書館委員会の協議事項になっている。そのため 、予算立案は「図書館年間計画（案）」においてなされる。そこで 、前年度の実績を参考に、「計画（案）」に提案するための資料の 作成を行う。
5	1 企画	図書館システ ムの構築（変 更）	現行の図書館システムについて、適宜見直しを行い、改善計画を 立案し、システムの変更を計画する。
6	1 企画	研修計画	図書館員の専門性の向上のために、業務に必要な研修計画の立案 を行う。
7	1 企画	自己点検・評 価報告書作成	図書館の毎年の業務の報告書を作成する。現在、「図書館自己点 検・評価」「図書館利用者満足度調査分析」で構成される。
8	2 運営	書庫管理 図 書	書架の配架状況を勘案し、書庫への移動を行う。図書には、「書 庫」の押印をし、データには保管場所を入力する。
9	2 運営	書庫管理 新 聞・雑誌	新聞は、1か月から数か月単位で、事務室収納分を書庫へ移動。雑 誌は、雑誌架に収納されている分を1年単位で書庫へ移動。
10	2 運営	書架整理	資料の収蔵状況を把握し、全書架の配置を管理し、増加に応じて 書架上の整理を行う。
11	2 運営	選書	出版・販売情報などの資料をもとに、資料の選択をする。選書ワ ーキンググループにより選書された資料、教員からの選書・リクエ スト、学生のリクエストなどを集約する。
12	2 運営	選書ツアー（ 学生）	年2回程度、学生の希望者を募り、書店で選書を行う。同行する学 生に選書計画などを説明して、現地で指導を行う。
13	2 運営	図書・雑誌発 注	選書されたリストにもとづいて、発注業務を行う。

14	2 運営	納品の検収、 配置	業者から納品された資料を、納品書と照合し、受理し、所定の位置に配置する。
15	2 運営	蔵書管理 蔵 書点検	蔵書が整理され、常に停滞することなく利用に供されているかを管理する。現在は、年1回定期的な蔵書点検を実施しているが、必要に応じて調査を実施する場合がある。
16	2 運営	図書除籍処理	「図書館収集・管理規程」にしたがって、除籍を行う。
17	2 運営	図書館協力	図書館間の相互貸借のための手続きを行う。必要に応じ県内大学図書館相互利用のための、「共通閲覧券」や紹介状発行など。
18	2 運営	各種案内、掲 示	必要に応じ、図書館利用に関することなどを館内に掲示する。
19	3 統計	調査・照会な どの集計	利用統計、相互貸借などについて、月計、年間統計のための資料を整理し、集計する。
20	3 統計	利用者アンケ ート調査、集 計	学生アンケート（毎年1回実施）について、調査項目を確認し、実施する。回収した調査票を集計し、評価を行う。
21	3 統計	資料の増減冊 数集計	図書館資料（図書、新聞・雑誌、AV資料など）について、年間の受入資料数と廃棄数を算出し、統計資料を更新する。
22	3 統計	閲覧・貸出等 についての集 計	図書館利用状況について集計し、月計、年間の別に集計する。
23	4 庶務	会計総管理	図書館で発注した備品、消耗品のうちで図書館が管理する物品などに関する、支払い業務。購入した物品などの見積書、納品書、請求書などの関連書類一式を総務課に提出するまでの業務。
24	4 庶務	コピー料金の 管理、集計	利用者用コピー機の料金について月計、年間統計のための資料を整理し、集計する。
25	4 庶務	備品・消耗品 、出納・保管	事務作業の必要に応じ、備品、消耗品などの出納・保管を行う。
26	4 庶務	寄贈図書受信	寄贈された資料について受理する作業を行う。
27	4 庶務	研究紀要発送 先名簿管理	本学研究紀要の交換資料先の機関の名簿を作成、更新する。
28	4 庶務	研究紀要発送 作業	本学研究紀要を交換先の機関に発送する。
29	4 庶務	業務日誌	毎日の業務状況を記録する。
30	4 庶務	郵便物の收受 、発送および 保管	図書館あてに送付された郵便物の受理、および必要な発送などを行う。
31	4 庶務	館内美化、衛 生・火気取締 り	館内の美化に努め、衛生状況、火気取り締まりを行う。

整理

1	1 図書	図書発注（発 注、重複調査 ）	発注予定の資料について、重複がないかを調査し、発注する。
2	1 図書	図書検収	納品された資料について（検収）、発注書と照合し、異同がないかを点検する。
3	1 図書	図書登録	図書を蔵書として登録する。
4	1 図書	図書データ入 力(DLなど)	図書データ入力（ダウンロードなど）INN（国立情報学研究所）などのデータをDLし、ローカルデータを付与する。

5	1 図書	図書装備	図書に閲覧に必要な装備を行う。
6	1 図書	図書配架（新着図書）	利用に供するために、新着図書については新着書架に配架する。
7	1 図書	図書修理	補修の必要な図書館資料については、適宜修理する。必要に応じて業者に発注する。
8	1 図書	図書分類訂正	図書の分類の調整、修正など変更が生じた場合、これを訂正する。
9	2 逐刊	雑誌受入、登録など	雑誌の受入ファイルにデータを登録し、利用に必要な装備を行う。
10	2 逐刊	新聞受入、配架など	新聞は、毎日当日分の配架、前日分の事務室内収納を行う。
11	2 逐刊	研究紀要受入、登録など	交換によって受理した研究紀要の受け入れ業務を行う。
12	2 逐刊	製本雑誌、発注、検収、登録	長期保存が必要な資料（雑誌など）については、製本を行う。その際に、業者に発注するための業務を行う。
13	2 逐刊	製本雑誌データ入力	製本済みの資料（雑誌など）について、管理のためのデータ入力を行う。

利用者サービス

	区分	業務名	業務内容
1	1 サービス	カウンター業務（貸出など）	サービスカウンターにおいて、閲覧、貸出、レファレンスサービスなどのための業務全般を行う。
2	1 サービス	督促	図書などの資料の返却の延滞者に対して、督促を行う。
3	1 サービス	A Vサービス	A V資料の閲覧などのために手続きを行う。
4	1 サービス	レファレンスサービス	利用者の求めに応じ、質問に対する回答業務を行う。即答できない場合は、調査の上回答する。
5	1 サービス	リクエストサービス	利用者の要望に応じて、リクエストを受け付ける。これを検討したうえで、購入などによって資料要求に応える。
6	1 サービス	複写サービス	利用者の必要に応じて、著作権法の許可された範囲内の複写を行う。
7	1 サービス	閲覧室図書の配架、移動、整理	返却された資料の配架を行う。書架上の整理、また、必要に応じて、書架上の資料の移動を行う。また、利用者が支障なく利用できるよう、適切に資料が書架などに配架されているか、日常的に書架上の資料の整理を行う。
8	1 サービス	図書館カレンダー	図書館の開館時間を明記したカレンダーを利用者向けに作成する。
9	1 サービス	ホームページ	図書館からのお知らせなど随時更新、各プログラム動作のチェック、確認を行う。
10	2 利用教育	利用案内、マニュアル作成	図書館利用のための案内などを作成する。
11	2 利用教育	新入生のオリエンテーション	新入生を対象に図書館利用の初歩的な説明を行う。
12	2 利用教育	館内オリエンテーション	新入生を対象に図書館利用の貸出・返却、館内の案内などの説明を行う。
13	2 利用教育	教員の依頼による図書館ガイダンス	授業のための図書館利用など、必要に応じ、教科担当の教員依頼に応じて、利用、資料の検索など図書館ガイダンスを行う。
14	2 利用教育	学生便覧（図	学生便覧のための原稿作成を行う。

		書館原稿)	
15	3 相互協力	相互貸借(相互利用、依頼、受付)	本館に資料がない場合には、他館を紹介する。そのために紹介状の発行などの手続きを行う。また、学外者の本館の利用に当たり必要な諸手続きを行う。
16	3 相互協力	文献複写(依頼、受付)	本館に資料がない場合には、他館に資料の複写を依頼する。また、依頼を受けた場合はこれに応じる。そのための諸手続きを行う。
17	4 広報	図書館報	図書館の広報の一環として、図書館報を編集、発行する。必要に応じて、自家製版を発行する。
18	4 広報	広報資料、パスファインダーなどの資料作成	『情報へのアクセス』、各種パスファインダーなど図書館利用を促進するための資料を作成する。
19	4 広報	展示	適宜、展示を行う。

(7) 図書館事務分担

図書館の事務分担については、次のとおりである。

管理

	区分	業務内容	担当者			
			館長	原	高橋	大久保
1	1 企画	図書館委員会	◎	◎		
2	1 企画	図書委員会(学生)			○	
3	1 企画	図書館業務企画立案	◎			
4	1 企画	予算立案	◎			
5	1 企画	図書館システムの構築(変更)		○	○	
6	1 企画	研修計画		○	△	△
7	1 企画	自己点検・評価報告書作成		○	△	○
8	2 運営	書庫管理 図書		○		
9	2 運営	書庫管理 新聞・雑誌			○	○
10	2 運営	書架整理		○	○	○
11	2 運営	選書(含、ワーキンググループ)		◎	△	○
12	2 運営	選書ツアー(学生)			◎	
13	2 運営	図書・雑誌発注		◎		○
14	2 運営	納品の検収、配置				◎
15	2 運営	蔵書管理 蔵書点検		○	○	○
16	2 運営	図書除籍処理		◎		○
17	2 運営	図書館協力			○	
18	2 運営	各種案内、掲示		◎		
19	3 統計	調査・照会などの集計		○	○	
20	3 統計	利用者アンケート調査、集計		○		○
21	3 統計	資料の増減冊数集計		○	○	○
22	3 統計	閲覧・貸出等についての集計		◎		
23	4 庶務	会計総管理		○	◎	△
24	4 庶務	コピー料金の管理、集計			○	
25	4 庶務	備品・消耗品、出納・保管			○	
26	4 庶務	寄贈図書受信		○	○	○
27	4 庶務	研究紀要発送先名簿管理			○	
28	4 庶務	研究紀要発送作業		○	○	○
29	4 庶務	業務日誌		○	○	○

30	4 庶務	郵便物の收受、発送および保管		○	○	○
31	4 庶務	館内美化、衛生および火気取締り		○	○	○

整理

	区分	業務内容	担当者			
			館長	原	高橋	大久保
1	1 図書	図書発注（発注、重複調査など）		○	◎	
2	1 図書	図書検収（伝票照合など）				◎
3	1 図書	図書登録				◎
4	1 図書	図書データ入力（ダウンロードなど）			◎	
5	1 図書	図書装備		○		◎
6	1 図書	図書配架（新着図書などを含む）		○	○	○
7	1 図書	図書修理			○	
8	1 図書	図書分類、訂正		○	◎	
9	1 図書	図書等、原簿作成		○	◎	○
10	2 逐刊	雑誌受入、登録など				◎
11	2 逐刊	新聞受入、配架など		○	○	○
12	2 逐刊	研究紀要受入、登録など				◎
13	2 逐刊	製本雑誌、発注、検収、登録			◎	○
14	2 逐刊	製本雑誌データ入力			◎	

利用者サービス

	区分	業務内容	担当者			
			館長	原	高橋	大久保
1	1 サービス	カウンター業務（貸出、返却など）		○	○	○
2	1 サービス	督促			◎	
3	1 サービス	AVサービス		○	○	○
4	1 サービス	レファレンスサービス		○	○	○
5	1 サービス	リクエストサービス		○	○	○
6	1 サービス	複写サービス		○	○	○
7	1 サービス	図書の配架、整理、移動（閲覧室）		○	○	○
8	1 サービス	図書館カレンダー		○	○	
9	1 サービス	ホームページ管理			○	○
10	2 利用教育	利用案内、マニュアル作成		○		
11	2 利用教育	新入生のオリエンテーション		◎	○	○
12	2 利用教育	館内オリエンテーション		◎	○	○
13	2 利用教育	教員の依頼による図書館ガイダンス		◎	○	○
14	2 利用教育	入学者を対象にした図書館ガイダンス		◎	○	○
15	2 利用教育	学生便覧（図書館原稿）		◎		
16	2 利用教育	利用教育ワーキンググループ		-	-	-
17	3 相互協力	相互貸借（相互利用、依頼、受付）			○	
18	3 相互協力	文献複写（依頼、受付）			○	
19	4 広報	図書館報		◎		○
20	4 広報	広報資料、パスファインダーなどの作成		◎		
21	4 広報	展示		○	○	○
22	4 広報	読書会		○		○

◎主な担当 ○担当 △部分担当

4 業務・活動記録

年間業務・活動／利用教育／委員会活動等／研修会等参加記録

	対象	項目	記 事
2016/4/1	1全学	館報	「図書館報」(第196号)、「図書館ガイド2016」発行
2016/4/1	2学生	教育	オリエンテーション(2学年)
2016/4/1	1全学	利用	4・5月展示 館員のおすすめの本「命短し学べよ乙女」(大久保)
2016/4/4	2学生	教育	オリエンテーション(1学年)、「読書に関するアンケート」(202名回収)
2016/4/4	1全学	事務	除籍展示(～4.8)
2016/4/8	4図書館	研修	ブレインテック研修 大久保(ブレインテック)
2016/4/12	2学生	教育	館内オリエンテーション(1学年)、コンピュータ検索オリエンテーション(1・2学年)(～4.25)
2016/4/20	2学生	利用	第1回読書会 三浦しをん『舟を編む』
2016/5/1	1全学	利用	「暮らしの手帖」を創った人 花森安治と大橋鎮子
2016/5/6	1全学	館報	「図書館ガイド2016」(カラー版)発行
2016/5/6	1全学	学生	リサイクルフェア(～5.12)
2016/5/10	1全学	館報	「図書館報」(第197号)発行
2016/5/10	2学生	教育	図書委員会(第1回-1・2学年)
2016/5/11	2学生	利用	第2回読書会 サン=テグジュペリ『星の王子さま』(参加者2名)
2016/5/12	2学生	授業	「乳児保育」1学年2・3限 授業内ガイダンス
2016/5/16	2学生	授業	「乳児保育」1学年1限 授業内ガイダンス
2016/5/19	2学生	授業	「乳児保育」1学年1限 授業内ガイダンス
2016/5/19	5その他	利用	保育センター研修「保育研究」図書館利用ガイダンス(18名)
2016/5/23	2学生	利用	長期貸出実施、2年生/15冊(～5/27 返却日7.1)
2016/5/23	1全学	学生	実習に使える本フェア開催
2016/5/25	2学生	利用	第3回読書会 清少納言『枕草子』(参加者2名)
2016/5/27	2学生	選書	第1回選書ツアー(学生9名、有隣堂 14:00～16:30)
2016/5/30	2学生	利用	長期貸出実施、2年生/20冊(返却日7.1)
2016/6/1	1全学	利用	6・7月展示 館員のおすすめの本「憧れの人を見つけよう」(原)
2016/6/8	2学生	利用	第4回読書会 太宰治『斜陽』
2016/6/17	4図書館	研修	日本図書館協会2016年度 短大・高専図書館部会 総会・幹事会 原(日本図書館協会)
2016/6/22	2学生	利用	第5回読書会 宮沢賢治『銀河鉄道の夜』(参加者7名)
2016/6/23	1全学	館報	「図書館報」(第198号)発行
2016/7/12	2学生	利用	第1回 絵本・ブックトーク 参加者7名
2016/7/13	2学生	利用	第6回読書会 ミヒヤエル・エンデ『モモ』
2016/7/19	1全学	館報	「図書館報」(第199号)、(別冊)発行
2016/7/23	2学生	利用	長期貸出実施、1・2年生/15冊(～7/29 返却日9.30)
2016/7/23	1全学	学生	実習に使える本フェア開催
2016/7/30	2学生	利用	長期貸出実施、1・2年生/20冊(返却日9.30)
2016/8/1	1全学	利用	8・9月展示 館員のおすすめの本「夏の夜空を見上げて」(高橋)
2016/8/1	4図書館	事務	「自己点検・評価報告書 2015年度」発行
2016/8/1	4図書館	利用	女子高校生のための図書館利用(～8.31)
2016/8/3	2学生	利用	後期定期試験開館時間延長(8:30～17:00、8/5)
2016/8/4	2学生	利用	後期定期試験開館時間延長(8:30～18:20)
2016/8/5	2学生	選書	第2回選書ツアー(学生6名、紀伊国屋書店 11:00～14:30)
2016/9/1	4図書館	研修	日本図書館協会 短大・高専図書館部会 幹事会 原(国際子ども図書館)
2016/9/1	4図書館	利用	3F空調工事(～9.10)
2016/9/12	1全学	事務	蔵書点検(～9.16)

2016/9/26	2学生	授業	「小児体育」2学年3・4限 授業内ガイダンス
2016/9/27	2学生	授業	「小児体育」2学年3・4限 授業内ガイダンス
2016/10/1	1全学	利用	10・11月展示 館員のおすすめの本「芸術を読む」(大久保)
2016/10/1	1全学	利用	展示 「ガンバレ、ヨコタン生！」就職支援コーナー
2016/10/3	3教員	教育	学生に対する図書などの紹介(お願い)、授業内ガイダンス申込書
2016/10/6	1全学	事務	全教職員蔵書点検(～10.31)
2016/10/16	4図書館	研修	全国図書館大会東京大会 高橋(青山学院大学)
2016/10/26	1全学	館報	「図書館報」(第200号)発行
2016/10/26	2学生	利用	①読書会 「新潮文庫の100冊」を読んでみよう
2016/11/1	1全学	利用	『情報へのアクセス』発行
2016/11/2	2学生	利用	②読書会「新潮文庫の100冊」を読んでみよう 参加者8名
2016/11/4	2学生	利用	③読書会「新潮文庫の100冊」を読んでみよう 参加者3名
2016/11/8	4図書館	研修	第16回図書館総合展 大久保(パシフィコ横浜)
2016/11/9	4図書館	研修	第16回図書館総合展 ブレインテックユーザー会 高橋(パシフィコ横浜)
2016/11/9	2学生	利用	④読書会「新潮文庫の100冊」を読んでみよう 参加者9名
2016/11/16	2学生	利用	⑤読書会 「新潮文庫の100冊」を読んでみよう
2016/11/16	1全学	館報	「図書館報」(第201号)発行
2016/11/16	2学生	授業	「体育実技」1学年3・4限 授業内ガイダンス
2016/11/18	2学生	選書	第3回選書ツアー(学生2名、紀伊国屋書店(みなとみらい店) 14:40～18:00)
2016/11/18	2学生	授業	「体育実技」1学年3・4限 授業内ガイダンス
2016/11/21	2学生	利用	第1回 絵本・ブックトーク 参加者5名
2016/11/22	4図書館	研修	日本図書館協会 短大・高専図書館部会 ワークショップ 原(国際子ども図書館)
2016/11/30	2学生	利用	⑥読書会 「新潮文庫の100冊」を読んでみよう 参加者11名
2016/12/1	1全学	利用	12・1月展示 館員のおすすめの本「いつもそばに」(原)
2016/12/7	2学生	利用	⑦読書会 「新潮文庫の100冊」を読んでみよう 参加者34名
2016/12/9	2学生	利用	長期貸出実施、1・2年生／15冊(返却日1.12)
2016/12/12	1全学	館報	「図書館報」(第202号)発行
2016/12/14	2学生	利用	⑧読書会 「新潮文庫の100冊」を読んでみよう 参加者53名
2016/12/19	2学生	利用	ファッション雑誌アンケート(～1.13)
2016/12/19	2学生	図書館	「図書館利用に関するアンケート」実施 2年生98名
2016/12/21	2学生	利用	⑨読書会 「新潮文庫の100冊」を読んでみよう 参加者18名
2017/1/10	1全学	館報	「図書館報」(第203号)発行
2017/1/12	2学生	利用	⑩読書会 「新潮文庫の100冊」を読んでみよう 参加者32名
2017/1/20	1全学	館報	「図書館報」(第204号)、「保育者になるための読書ガイド&これから社会に出て仕事に就く人のために 2017」発行
2017/1/24	2学生	利用	2年生貸出(返却日2.7)
2017/1/27	2学生	利用	1年生長期貸出実施／15冊(～2.2 返却日4.7)
2017/1/27	1全学	学生	実習に使える本フェア開催
2017/2/2	2学生	利用	1年生長期貸出実施／20冊(返却日4.7)
2017/2/6	2学生	利用	後期定期試験開館時間延長(8:30～18:20、2.7 8:30～17:00)
2017/2/6	2学生	選書	第4回選書ツアー(学生2名、有隣堂 16:00～17:00)
2016/2/8	2学生	図書館	「図書館利用に関するアンケート」実施 1年生181名
2017/3/9	4図書館	研修	日本図書館協会短大・高専図書館部会・幹事会 原(日本図書館協会)
2016/3/27	3教員	教育	学生に対する図書などの紹介(お願い)、授業内ガイダンス申込書

5 各種統計

(1) 資料費の推移

年度		図書	図書以外	合計
2007	19	2,789	2,409	5,198
2008	20	3,464	1,734	5,198
2009	21	3,725	1,470	5,195
2010	22	3,066	1,534	4,600
2011	23	3,084	1,516	4,600
2012	24	3,099	1,501	4,600
2013	25	2,949	1,651	4,600
2014	26	3,288	1,312	4,600
2015	27	3,209	1,391	4,600
2016	28	3,380	1,220	4,600

(2) 資料の変遷 受入図書 冊数・蔵書 冊数

年度		和書 総数	寄贈(内数)	洋書 総数	寄贈(内 数)	合計	除籍冊数	蔵書数
2007	19	2,405	739	0	0	2,405	1,263	107,824
2008	20	2,878	474	16	0	2,894	1,003	109,715
2009	21	2,730	341	9	0	2,739	339	112,115
2010	22	2,544	535	1	0	2,545	448	114,212
2011	23	2,409	506	3	0	2,412	526	116,098
2012	24	2,356	521	0	0	2,356	526	117,928
2013	25	2,400	615	0	0	2,400	350	119,978
2014	26	2,491	436	28	28	2,519	456	122,041
2015	27	2,551	510	1	0	2,552	493	124,100
2016	28	2,686	541	12	0	2,698	335	126,463
						147,123	20,660	

(3) AV 資料所蔵数

年度		ビデオ テープ	DVD	カセット テープ	CD	CD-R OM	紙芝居	ピアノ ピース	スライ ド
2007	19	6	19	0	22	0	44		
2008	20	0	27	0	79	0	199	1	
2009	21	0	45	0	26	0	29	0	
2010	22	0	54	0	17	0	89	0	
2011	23	0	20	0	36	0	24	0	
2012	24	0	40	0	49	1	30	0	
2013	25	0	7	0	8	0	197	0	
2014	26	0	33	0	30	0	34	0	
2015	27	0	4	0	1	0	138	0	
2016	28	0	4	0	0	1	53	0	
小計		593	556	222	1,444	16	2,615	492	
除籍・欠番		0	0	0	-2	-4	-44	0	
合計		593	556	222	1,442	12	2,571	492	18

(4) 貸出冊数の推移

年度		学生数	学生	教員	卒業生	部署	授業	附幼保	保セ	他	合計
2007	19	407	14,441	1,197	596	68	0	249	89	3	16,643
2008	20	374	11,085	1,212	649	47	142	276	79	18	13,508
2009	21	315	9,189	1,287	688	52	60	752	269	3	12,300
2010	22	292	7,280	1,245	1,284	31	49	1,820	302	1	12,012
2011	23	345	7,558	1,023	1,141	51	53	2,391	138	7	12,362
2012	24	374	7,917	1,052	963	110	71	2,892	212	37	13,254
2013	25	368	6,950	982	1,052	5	23	3,165	496	46	12,719
2014	26	364	6,010	996	1,148	428	108	2,091	370	1	11,152
2015	27	365	6,507	749	993	698	123	4,005	311	2	13,388
2016	28	395	7,113	958	1,084	503	41	6,000	348	0	16,047

1985-93：図書のみでのデータ、1994-98：雑誌を加える、1999以降：AV資料を加える
 附幼保：附属幼稚園保護者、保セ：保育センター受講者、他：高校

(5) AV資料利用の推移（学生）

年度		ビデオ	DVD	カセット	CD	CD-ROM	紙芝居
2007	19	9	112	0	209	0	1,506
2008	20	15	211	0	288	0	1,768
2009	21	7	299	0	236	0	1,029
2010	22	3	261	0	151	0	680
2011	23	6	224	0	153	0	877
2012	24	5	175	0	97	0	772
2013	25	9	196	0	65	0	584
2014	26	13	238	0	53	0	304
2015	27	1	181	0	48	0	693
2016	28	1	106	0	65	0	725

* DVD、ビデオは館内閲覧、CDは貸出・閲覧の合計

(6) 相互貸借（複写）

年度		文献複写		他館利用		相互貸借	
		依頼	受付	依頼	受付	依頼	受付
2007	19	14	0	2	2		
2008	20	13	1	2	0		
2009	21	1	0	0	0		
2010	22	1	2	0	0		
2011	23	1	1	0	0	0	1
2012	24	2	1	0	0	0	0
2013	25	0	1	1	0	0	1
2014	26	18	1	1	1	0	1
2015	27	10	0	0	0	3	1
2016	28	2	2	1	0	0	0

(7) 予約図書

年度		冊数
2007	19	22
2008	20	52
2009	21	22
2010	22	25
2011	23	19
2012	24	18
2013	25	8
2014	26	11
2015	27	9
2016	28	43

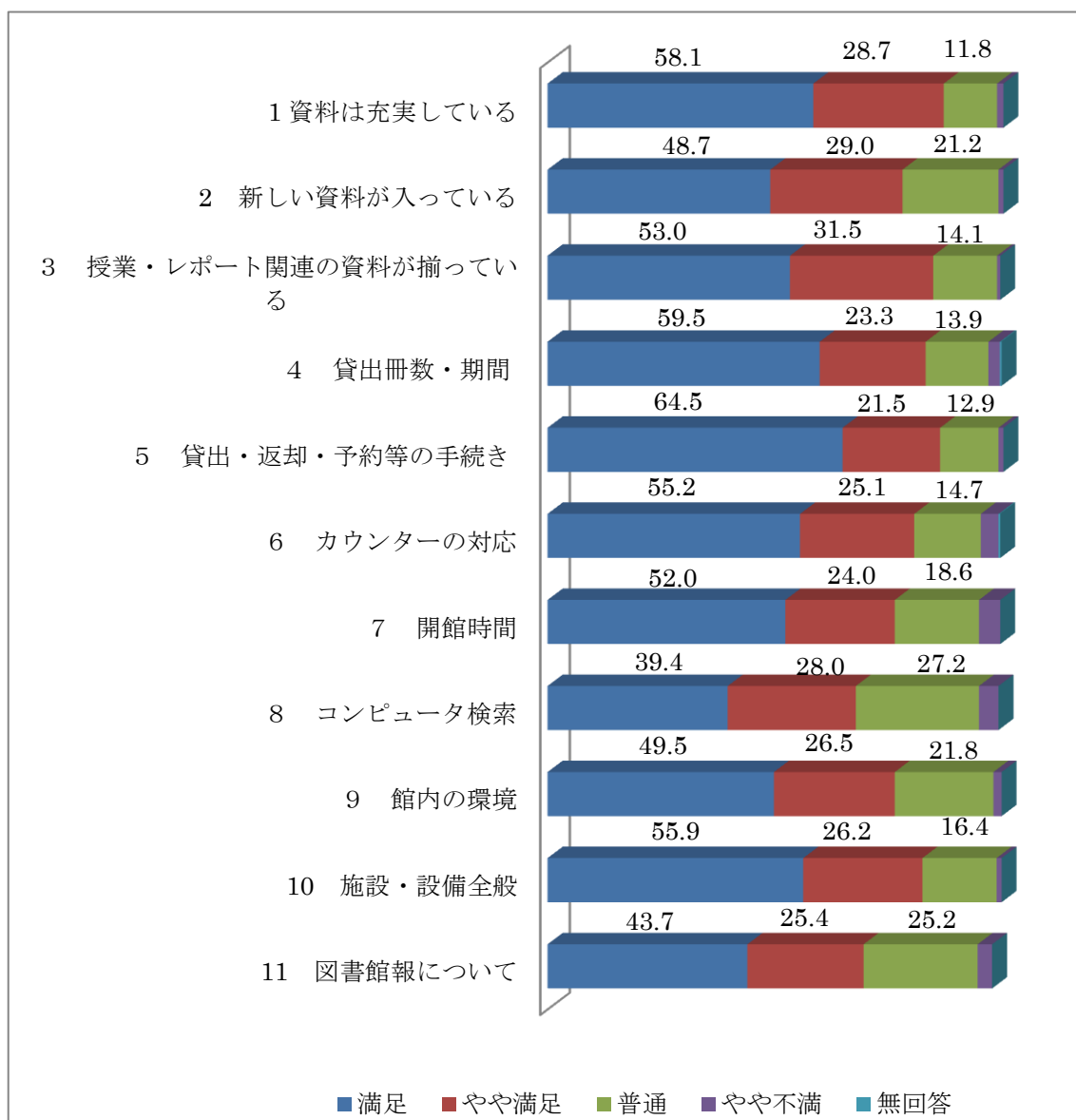
Ⅱ 図書館利用者満足度調査分析

1 「図書館利用についてのアンケート」結果

2016年12月19日、2017年2月8日に、例年どおり「図書館利用についてのアンケート」を実施した。1学年181名、2学年98名、合計279名から回答を得た。設問は、図書館のサービスについて11項目、「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」の5段階評価。「意見」は、自由に記入できるようにした。なお、アンケート実施当日、2年生の欠席が多かったが、例年どおり集計した。

図書館利用全般について

2016年度は、前年度に比べ全ての項目において「満足」が増加した。全ての項目について2学年に比べて1学年の評価が高い。

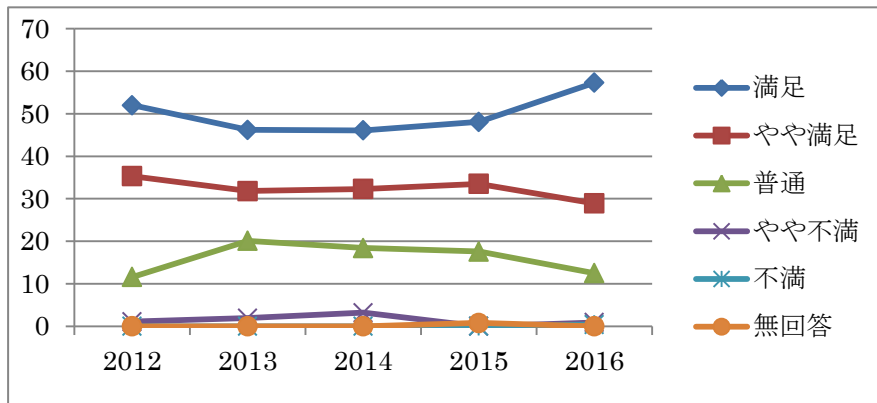


各項目について

各項目について集計し、2012年度から2016年度までの過去5年分を比較し、満足度の変化をあらわした（数値は%）。以下の、☆は2016年度、★は項目の特徴。

資料について

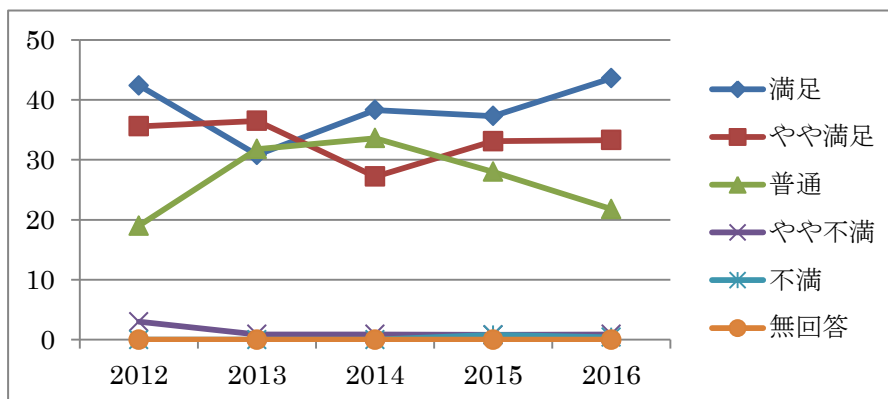
1 資料は充実している



☆2016-「満足」「やや満足」の合計の数値が 86.1 ポイントで、毎年、満足度が項目中最も高い。1、2 学年ともに、資料の充実度を実感していると考えてよい。学年別に見ると「満足」は 1 学年の方が 2 学年より 26.6 ポイントも高く、項目中最も開きが大きかった。

★この項目は、「資料」についての項目で、Q2、Q3 と相関性が高い。いずれも満足度が高いが、Q1 は全般的な設問である。毎年「満足」「やや満足」が「普通」よりも上位で安定している。1 学年の方が資料の充実度を実感している。

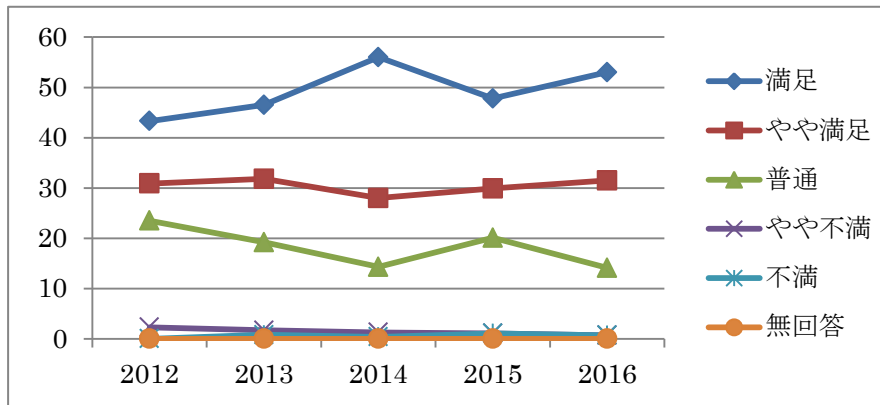
2 新しい資料が入っている



☆2016-「満足」「やや満足」を合わせると 77.7 ポイント。1 学年と 2 学年の「満足」の開きは、昨年度は 2.2 ポイントであったが 2016 は 23.2 ポイントと項目中最も大きく開いた。★資料についての項目で Q1、Q3 と相関性が高い。「満足」「や

や満足」を合わせた数字が 2013 年度以降 70 ポイント台を保っている。資料の新鮮度について満足が伺える。引き続き授業、課題、実習に則した学生向けの新刊図書を中心に選書をしていきたい。

3 授業・レポート関連の資料が揃っている

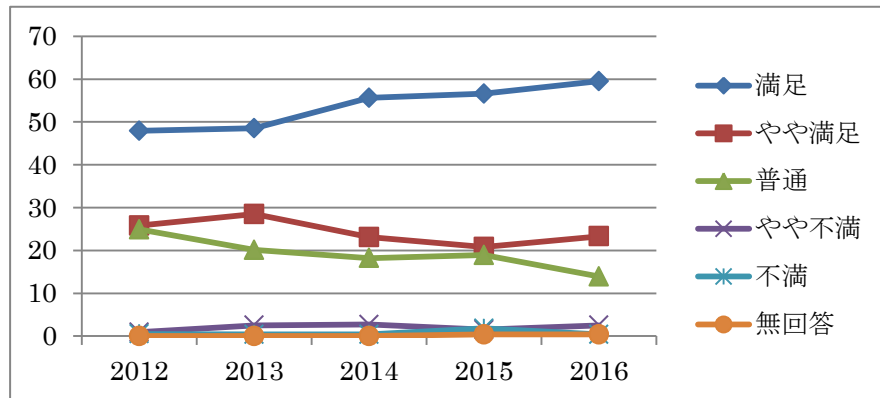


☆2016-「満足」「やや満足」の合計は 84.5 ポイントで、2015 より 6.8 ポイント増加した。Q1、2、3 の資料について、1 学年の方が満足度がすべて 2 学年より 20 ポイント以上高い。2 学年になると課題、実習などで資料を使いこなしている分、評価が厳しい。引き続き、教員

からレポート課題について連絡があれば速やかに準備をして対応したい。★資料についての項目で、Q1、Q2 と相関性が高い。この設問が Q1、Q2 と違うのは、設問が具体的で身近な問題であるということ。上記 2 設問よりも「やや不満」の数値が毎年高いのが特徴。

サービスについて

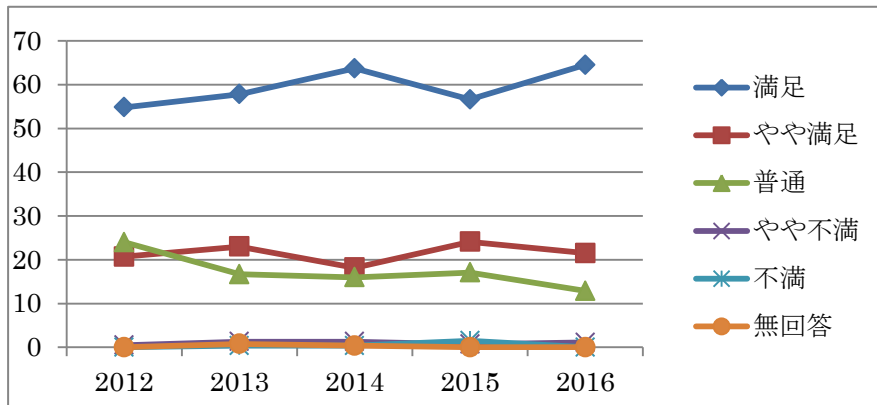
4 貸出冊数・期間



☆2016-「満足」「やや満足」の合計は 2015-77.4、2016-82.8 で 5.4 ポイント増加。★貸出についての項目で、Q5 との相関性が高く、評価も同様の傾向を示している。「満足」と「やや満足」

をあわせた数値が、毎年 77 ポイント台であったが、2016 は 82.8 ポイントと増加した。実習期間の長期貸出時に制限冊数を変更したり、複本の整備などを行っているため満足が得られていると考える。

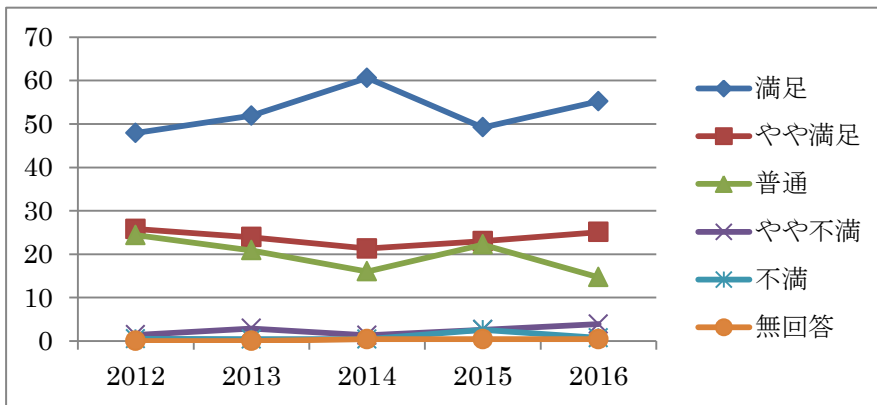
5 貸出・返却・予約等の手続き



☆2016-「満足」「やや満足」をあわせた数値が 86 ポイントとなり昨年よりも 5.3 ポイント増加した。Q1 とともに満足度が高い項目。学年別に見ても 1 学年の「満足」は 71.3 ポイントで 2015 より 11.7 ポイント増加し項目中最も満足度が

高かった。2 学年は 52 ポイント。★貸出の手続きについての項目で、Q4 との相関性が高い。「満足」「やや満足」をあわせた数値が 2013 以降平均 80 ポイント台を推移し評価が高い。

6 カウンターの対応

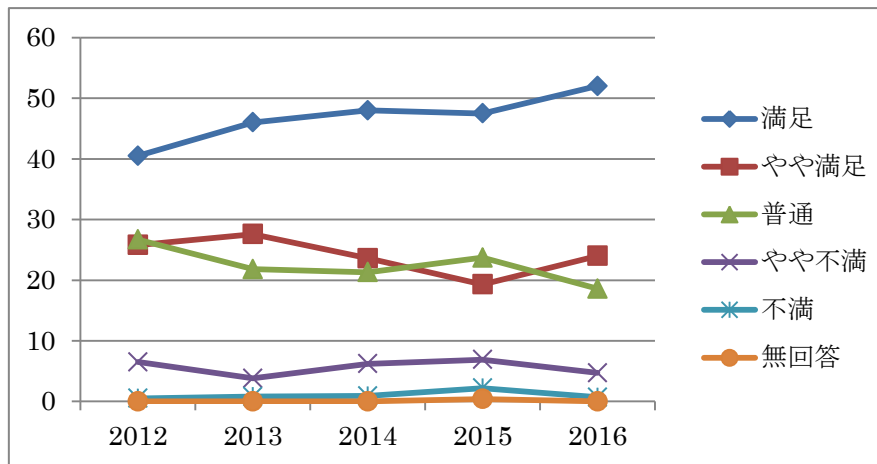


☆2016-「満足」が 2015 より 8.1 ポイント増加し 80.3 ポイントであった。学年別に見ると 1 学年は 58.6 ポイント、2 学年は 49 ポイントと、それぞれ 7.1 ポイント、3.3 ポイント増加した。学年別の開きは項目中最も小さい 9.6 ポイントで

あった。引き続き満足されるサービスを心がけたい。

★いずれの設問とも直接的に相関性は低い。「満足」「やや満足」をあわせた数値が 70 ポイント台を推移していたが、2016 は 80 ポイント台となった。

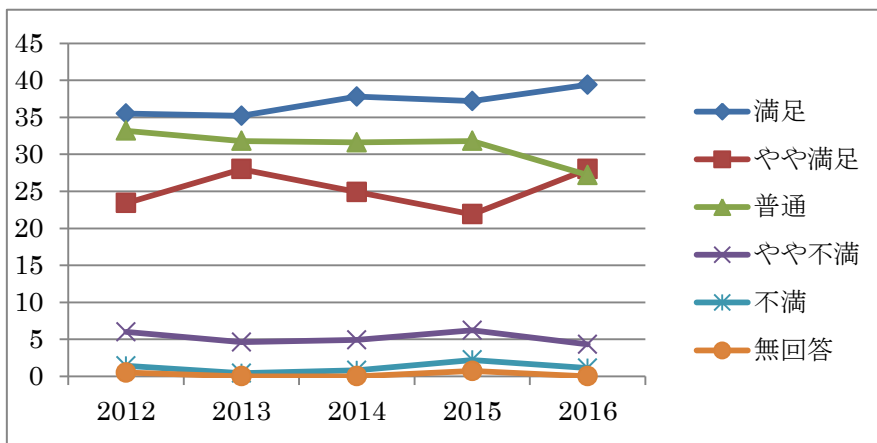
7 開館時間



☆2016-1・2 学年の「満足」の差が2014 以降大きい。2015 の 10.7 ポイントから 2016 は 21.8 ポイントと倍になった。「満足」と「やや満足」をあわせた数値が 2015 の 66.8 ポイントから 2016 は 76

ポイントへ 9.2 ポイント増加した。★朝も利用があれば 9 時前から、また授業がある土曜、オープンキャンパスなどには開館し対応している。

8 コンピュータ検索

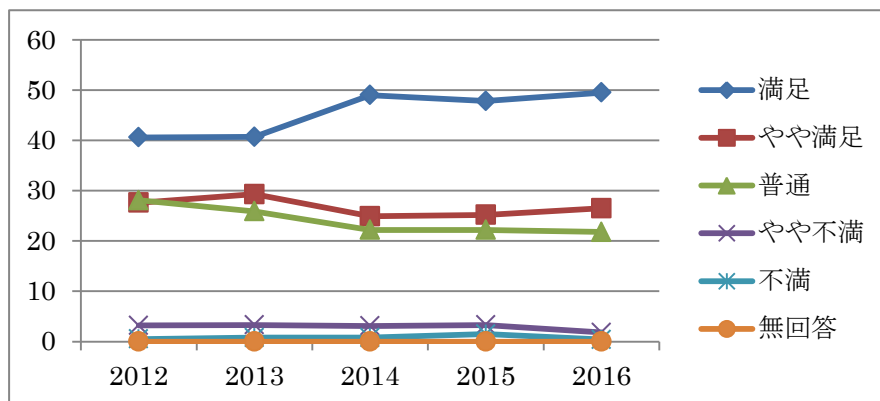


☆2016-1、2 学年ともに満足度が最も低い項目で、それぞれ 45.3 ポイント、28.6 ポイントであった。「満足」と「やや満足」の合計は 2015 より 8.3 ポイント増加し 67.4 ポイントとなったが、項目中最も低い。「普通」の平均は 30 ポイントを推移していたが、2016 は 27.2 ポイントと減少した。★満足度が低い原因

は、資料検索はできても資料そのものを探せないことを表している。OPAC 上に配架図が表示され本を探しやすいと思われるが、依然として満足度は低い。毎年 4 月にガイダンスを実施しているが参加者はいない。カウンターでその都度対応している。

施設・設備

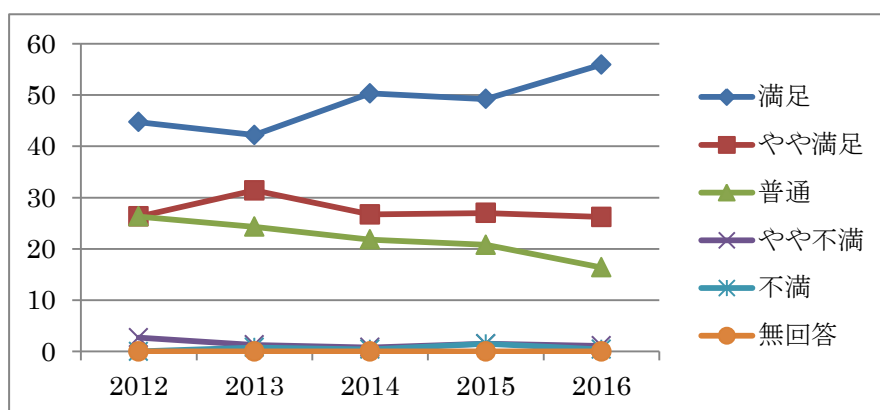
9 館内の環境



☆2016-「満足」と「やや満足」をあわせた数値は、2015より3ポイント増加し76ポイントであった。★「満足」、「やや満足」の合計が毎年70ポイント

台を推移し安定している。館内の温度、利用の多い試験期間の私語など遠慮せずカウンターへ来るよう伝えている。

10 施設・設備全般

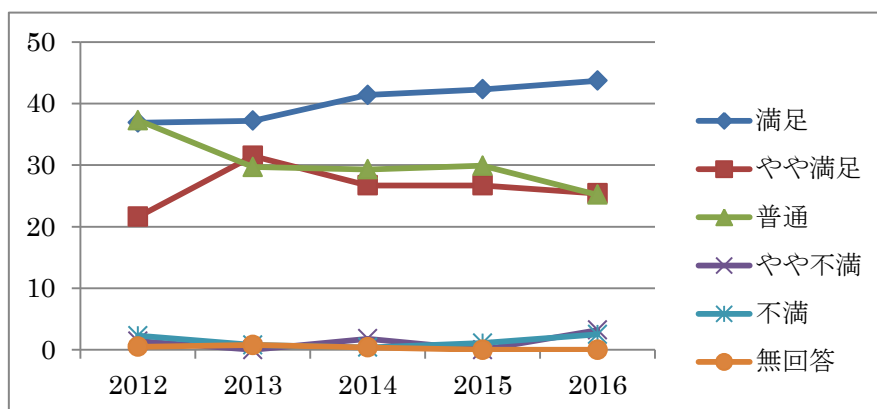


☆2016-2015は1・2年の学年別で「満足」「やや満足」が、それぞれ7.4、1.9ポイントと開きが小さかったが、2016は15.3、3.6ポイントと倍になった。

「満足」と「やや満足」の合計は毎年70ポイント台を推移していたが、2016は82.1ポイントに増加。★充実した、施設・設備が理由と考えられる。

広報

11 図書館報について



☆2016-「満足」と「やや満足」をあわせた数値は 69.1 ポイントで 2015 と変わらなかった。過去 5 年間、68~69 ポイント第を推移している。★この設問に対する回答の傾向は、満足度はそれほど高くないが、不満も高くない点であったが 2016 は「や

や不満」と「不満」の合計が 5.7 ポイントと、項目中最も高くなった。学生によって、図書館利用に大きな開きがあるため、関心度にも差が生じているようだ。実習のための図書館利用をインタビューしたり、カラー版を発行するなど工夫をしている。

2017 年 6 月 15 日発行
横浜女子短期大学図書館
〒234-0054 横浜市港南区港南台 4-4-5
TEL 045-835-8115 FAX 045-835-8118

横浜女子短期大学図書館 自己点検・評価報告書

2016 年度版

目次

序	1
第1部 図書館自己点検・評価の概要	2
1 「短期大学評価基準」に基づく自己点検・評価	2
2 総合的な自己評価	9
第2部 資料編	15
I 図書館業務報告	15
II 図書館利用者満足度調査分析	28

横浜女子短期大学図書館